



発行所 国鉄労働組合盛岡地方本部
発行 齋藤庄司
編集 中堤聡司
TEL 019-622-5021
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2010.6.10 第1422号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを皆の力で」
「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。加入ってます」

東日本本部ブロック別組織対策交流集会

一人ひとりが一歩前に踏み出そう

盛岡・千葉・東京から76人が参加

組織拡大の波が大きくなっている。5月17日の水戸地本における国労復帰で、2006年の一括和解以降78人、そして20ヶ月連続で組織拡大を勝ち取ってきている。
こうした中で東日本本部は、組織拡大運動の交流を目的にブロック別の交流会を取り組むこととした。その第一弾として、5月23・24日の2日間、千葉県九十九里町・国民宿舎「サライズ九十九里」にて盛岡地本・千葉地本・八王子地区本部・大井工場支部の交流会を開催。盛岡地本からは復帰者である能登谷節夫さんをはじめ12人が参加し、全体では76人が集まり交流を深めた。反転攻勢に向け、一人ひとりが一歩前に踏み出そう！

粘り強く継続した取り組みの大団圓

1日目は、国労東日本本部弁護団の海渡雄一弁護士の「最近の労働法制の動きとポイント」について講演を聞き、その後各地本(地区本部、支部)での拡大報告を受け、分散会に入りしました。拡大報告では、盛岡地本からは青森支部の能登谷節夫さんが国労復帰という自身の経験をもとに、「国労復帰の思いはあったが、なかなか踏み切れなかった。けれども、今日一緒に参加してくれた小原分會書記長が背中を押してくれた。自分の経験を広めるために、いろいろな会議へ積極的に参加したいと考えている」と報告しました。また、分散会は、9班に分かれ、職場状況や組織拡大状況を報告し合いました。2日目は、前日に引き続き朝から分散会を行い、組織拡大に向けてどのように取り組んでいくか討論しました。分散会終了後、全体交流で分散会の報告、各地本の情報報告がありました。盛岡地本からは菊池組織部長が「会社側の小さな変化も見受けられる。拡大には分會活動の活性化が重要と考える。引き続き、地本は支部へ、支部は分會へ足を運ぶ取り組みを強めていきたい」と報告しました。

ブロック別組織対策

国鉄労働組合東日本本部



盛岡地本から参加し報告する小原さん(左)と能登谷さん(右) (青森駅連分會)

短い時間でしたが、各地本の組織拡大状況や分會活動等聞き、ひとりが責任を持つのではなく国労全体で責任を持ち、組織拡大に向け粘り強く継続した取り組みが大切だと改めて感じた2日間でした。盛岡電気分會 佐藤祐司

阿部一男(7月・花巻市議選挙) 斎藤憲雄(10月・青森市議選挙) =議席確保に組合員の協力を=

組織内候補の阿部一男氏が立候補予定の花巻市議選議員選挙が7月18日告示、25日投票、同じく組織内候補の斎藤憲雄氏が立候補を予定する青森市議選議員選挙が10月24日告示、31日投票で実施される。阿部氏は9度目、斎藤氏は4度目の議席の確保を目指す。阿部氏は9度目、斎藤氏は7月に予想される参議院選挙とあわせ取り組みを要請している。関係地区協など連携し、自治体議員選挙で組織内候補の当選に向けた取り組みを積極的に展開しよう。(①主な経歴②主な現役職)



花巻市議選議員選挙 阿部一男(現) 63歳 民主党公認(現在8期目)

①1946年生まれ、明治大学経済学部卒、花巻地方労働組合連合会事務局長、花巻市国保運営協議会会長②市議会総務常務委員、花巻南地域開発協議会理事、民主党岩手県連合副代表。



青森市議選議員選挙 斎藤憲雄(現) 58歳 民主党公認(現在3期目)

①1951年生まれ、東奥義塾高卒、国鉄入社、国労青森支部・地本役員、1998年青森市議選議員初当選②市議会都市建設常任委員会委員、同新幹線特別委員会委員、民主党青森総支部副代表

最後の講演で、「鳩山首相による『誰が憲法をつぶそうとしているか!』という演題で、1時間10分ほどの講演会でした。この講演会で、『鳩山首相は、連立・地元よりアメリカとの合意を優先した』『自衛隊幹部などの考え・発言問題』『言論の自由が無い危険さ』や故城山三郎氏の『戦争で得たものは憲法だけだ』など広範にわたる内容でしたが、厚木基地所属の米軍戦闘機墜落事故で、犠牲になった家族の話の聞き、改めて護憲の思いを強くしました。

JR東日本は5月11日東北新幹線八戸〜新青森駅(線路延長81.8キロ)の開業日を今年12月4日に決定したと発表。同時に来年3月導入するE5系新幹線新幹線車両の列車愛称を「はやぶさ」に、同車両に1両導入するスライプグリーンを「グランドクラス」に決めた。決定を受けて青森県知事や青森市長のカウントダウン開始の様子をテレビが伝えていたが、ハイテンションで喜ぶさまに私は違和感を持った。新幹線新青森駅開業に伴う影の部分である並行在来線はJRから経営分離され、第三セクター鉄道会社「青い森鉄道」目時〜八戸間が青森駅(線路延長121.9キロ)まで延伸される。移管される「青い森鉄道」は当初から赤字が予想されており、極めて厳しい経営環境に置かれている。新青森駅開業は運賃・新駅建設・新幹線との交通アクセス・利便性確保・少子高齢化・沿線住民の減少・モータリゼーションなど多くの問題をかかえているにも拘らず進展している。地方ローカル線の維持継続には地方自治体だけでは困難で国の継続的な支援が必要である。今後開業が予定される新幹線をかかえている地方自治体の聞き取り調査を国土交通省が実施しているが国の具体的な支援策は明らかにされていない。JRから経営分離された鉄道会社の経営が成り立つような恒久的な支援措置の確立が必要だ。また、八戸〜青森間の経営分離に伴い、大湊線・八戸線のJR経営のあり方や配転・出向などの雇用問題もある。「青い森鉄道」移管にむけ不安や動揺を払拭し安全第一を基本に進める思いを強化していこう(聡)

色々と葛藤したが 復帰して良かった

今回、国労東日本本部ブロック別組織対策交流集会に参加

5月29日雪石町のホテル大観において、平和環境岩手県労働組合センター主催の第2回県労組センター単産単組代表者・地区労セスター代表者合同会議及び学習交流会が3部構成で開催されました。

1部の代表者会議では、第1回代表者会議以降の経過報告として、第20回臨時総会での役員交代や岩手県議選会派問題・県議補選について報告されました。また、協議として、(1)平環

改めて護憲の思いを強く 佐高信氏(評論家)が講演

センター・護憲連盟・原水禁・憲法活かす会の組織統合について、(2)参議院選挙に向けた取り組みなどについて話し合われました。

「普天間基地問題・政局」について小原県連代表から報告を受け、福島民進党の閣議決定調印に関わる少子化担当相罷免と政権離脱問題が取りざたされている最中でもあったので、タイムリーな報告と意見交換になりました。

加させていただきました。その中で、特に印象に残ったのは、組織部長提起の拡大報告の中で、東京・八王子支部の立川電力メンテナンスセンターの熊谷さんの意見が深く印象に残っています。少ない人数で3人の方が国労復帰したこと。なぜか私の場合とだぶつての思いで聞いておりました。その後、私も小原典昭さん(青森駅連分會書記長)と壇上上がり、ちよつと緊張した面持ちで国労への復帰の気持ちなどを説明しました。

か。私も昨年3月12日に国労復帰しましたが、その前は東労組でした。東労組という組合は、個人重視、組合そのもの自体、私物化している人間が多いところです。それに反発して国労復帰を決めました。その時、私にやさしくしてくれた先輩が樋口さんでした。国労に入るまでは色々葛藤

藤しましたが、今では国労に入つて本当に良かったです。夜は、宴会で盛り上がり日付が変わった後も部屋で飲み続けました。本当にありがたうございました。また、何かこうしたい会に参加したいと思ひます。

青森駅連分會 能登谷節夫

当面の主な日程
▽6月15日(盛岡) JR不採用問題盛岡地区報告集会
▽6月16日 JR不採用問題一関地区報告集会

▽6月17日 JR不採用問題北上地区報告集会
▽6月18日 JR不採用問題宮古地区報告集会
▽6月23日(盛岡) 第10回地本執行委員会・第

9回闘争委員会
▽6月23日(盛岡) 岩手県交運労協幹事会
▽6月24日(東京) 第95回交運共済通常総代会
▽7月9日(東京) 交運共済東日本事業本部運営委員会

岩手県内4地区で 不採用問題報告集会
馬淵帯広闘争団团长来県
JR不採用問題報告集会と各組へのお礼行動が岩手県側で、馬淵帯広闘争団团长が来県し、盛岡・北上・一関・宮古地区などで6月15日〜18日の間に展開される。今行動は、解決への扉を大きく開いたことを受け、今後もしっかりと闘争団を支え最終解決を実現するまでの闘いと参議院議員選挙での奮闘を期して取り組むこととなっている。組合員の多くの参加を。

ていこう
JR東日本は5月11日東北新幹線八戸〜新青森駅(線路延長81.8キロ)の開業日を今年12月4日に決定したと発表。同時に来年3月導入するE5系新幹線新幹線車両の列車愛称を「はやぶさ」に、同車両に1両導入するスライプグリーンを「グランドクラス」に決めた。決定を受けて青森県知事や青森市長のカウントダウン開始の様子をテレビが伝えていたが、ハイテンションで喜ぶさまに私は違和感を持った。新幹線新青森駅開業に伴う影の部分である並行在来線はJRから経営分離され、第三セクター鉄道会社「青い森鉄道」目時〜八戸間が青森駅(線路延長121.9キロ)まで延伸される。移管される「青い森鉄道」は当初から赤字が予想されており、極めて厳しい経営環境に置かれている。新青森駅開業は運賃・新駅建設・新幹線との交通アクセス・利便性確保・少子高齢化・沿線住民の減少・モータリゼーションなど多くの問題をかかえているにも拘らず進展している。地方ローカル線の維持継続には地方自治体だけでは困難で国の継続的な支援が必要である。今後開業が予定される新幹線をかかえている地方自治体の聞き取り調査を国土交通省が実施しているが国の具体的な支援策は明らかにされていない。JRから経営分離された鉄道会社の経営が成り立つような恒久的な支援措置の確立が必要だ。また、八戸〜青森間の経営分離に伴い、大湊線・八戸線のJR経営のあり方や配転・出向などの雇用問題もある。「青い森鉄道」移管にむけ不安や動揺を払拭し安全第一を基本に進める思いを強化していこう(聡)

JR不採用問題で意思統一

支部・地区協・分会代表者会議

地方本部は5月8日(土)、JR不採用問題が政治的和解を批准する目的で開催された第78回臨時全国大会の「政府の解決案受け入れ承認」の方針案採択を受け、盛岡市の国保会館で支部・地区協・分会代表者会議を45人の参加の中



代表者会議には45人が参加した。

で開催した。最初に齋藤地本委員長は「我々国労の最重要課題である採用差別問題が24年目をむかえて解決の方向にある。しかし、雇用問題が残っているJR採用を訴えている。今、本部は910世帯の解決案受け入れ署名捺印に取り組んでいる。

との間で裁判上の和解手続きを行い、訴訟の終結をはかる労働委員会と係争中の国鉄改革関連の九州3事件について取り下げの動き。ILO申立てに関して共同提訴人であるITFならびILO労働側グループと協議のうえ、所定の手続き等を講じる。政府と4党が合意した解決案にもとづき、JR北海道・九州等

推せん候補の議席確保に

各地での取り組み強化を

＝第22回参議院議員選挙＝

第22回参議院議員選挙が6月24日告示・7月11日(日)投票での施行が予想される。地方本部もすでに別掲の社会民主党公認立候補予定者4氏(①は主な現役職②は主な経歴)を推せん決定している。

政局は、鳩山首相の辞任、菅直人新総理のもとでの新内閣誕生などで急転しているが、不採用問題の雇用を含む最終解決の実現、平和と民主主義、人権と生存権を守り、国民本位の政治を目指し、推せん候補の必勝にむけ組織の総力を挙げ組合員が1人ひとりで各地で奮闘していこう。

①大分県議会議員、同県議会議員として本庁、出先各県事務所、自治労岩手県本部役員、3期、2000年県議会議員に当選(3期目)



▽比例代表
吉田 忠智(新) 53歳
社会民主党大分県連合副代表

①社会民主党岩手県連合幹事長、憲法擁護岩手県連盟議長②民間会社をへて岩手県職員、久慈・岩手保健所などに勤務、その間自治労岩手県本部役員、1991年、盛岡市議1期、1995年、県議会議員3期に当選(1期)



▽岩手選挙区
伊沢 昌弘(新) 62歳
社会民主党岩手県連合幹事長

①社会民主党上十三支部幹事長、核燃料サイクル阻止1万人訴訟原告団事務局長②青森県労働センター上十三地方本部書記、2004年三沢市議会議員に繰り上げ当選(1期)



▽青森選挙区
山田 清彦(新) 53歳
社会民主党青森県連合常任幹事

①社会民主党宮城県連合代表②東芝、気仙沼市役所に勤務、同市職労委員長、1985年気仙沼市議会議員に当選(4期)、2001年衆議院選挙東北比例で初当選、2005年同比例で2度目の当選。



▽宮城選挙区
菅野 哲雄(新) 61歳
社会民主党宮城県連合代表

課題・目標を決め実践し 総括する運動を進めよう

水戸・盛岡地本組織拡大交流会

地方本部は6月4日・5日の2日間、水戸市・水戸鉄道会館において水戸地方本部との交流会を取り組みました。

東日本本部内では一括和解以降78人、昨年9月の定期大会以降17人の組織拡大が勝ち取られ、こうした経験に学び

活かして行くため、地方本部はこの間各地本との交流会を取り組んできました。地方本部からは齋藤委員長、

小林副委員長、菊池組織部長、小野寺婦人部長の4人が、水戸地本からは佐藤委員長をはじめ13人が出席。また、忙しい中、本部・高橋委員長も駆けつけてくれました。

両委員長の挨拶に続き、組織拡大の取り組みについて両組織部長が報告。引き続き意見交換の中では拡大を成し遂げた勝田駅班の取り組みについて報告がされ、「全体で30人の駅で、国労は7人。けれども、大会報告をはじめ組織的活動はきちんと行なっている。目的意識的に関わり、国労復帰へ。仲間の自信につながり、次のリストアップが始まっている」としています。

1人の関わりをどう全体で包んでいくのが重要であるという事も言われていました。喫緊の課題である組織拡大に近道はありません。課題・目標を決め、実践行動し総括する運動が求められていることを改めて感じました。

粘り強い取り組みを続けていこうという小林副委員長のまとめを全体で確認し、奮闘を誓い合って散会しました。

新青森駅はほぼ完成 駅周辺整備は未だ遅れ

青森県交通労働協で視察団



開業にむけ着々と整備が進む新青森駅内

青森県交通労働協は、今年5月28日第3回幹事会の前段、12月4日開業予定の東北新幹線新青森駅の視察を行いました。当初八戸、新青森間(81・2km)の開業は2011年春を予定していましたが、JR東日本は工事が順調に推移したこと、地元の強い要望もあり今年12月の前倒し開業を決定しました。

5月11日JR東日本の清野社長は、東北新幹線の新青森開業日を今年12月4日、明年11年3月から導入する新型新幹線の愛称を「はやぶさ」と発表しました。開業日が決定し、県民の期待が高まる中、新しい青森駅の玄関口となる新青森駅は、昨年8月青森県新幹線・並行在来線対策会議での視察時と比べほぼ完成し、奥羽本線新青森駅として自由通路の一部を使用開始しています。駅全体としては八戸駅をひと回り大きくした感じで、二階コンコースは広く待合室を正面東側に配置し、青森市街を展望できる様になっています。ただ駅周辺の整備は未だ遅れていて、現状のままでは十分な開業効果を得ることが出来ないのではと心配になる視察となりました。

「がん」の生涯保障《アフラックのがん保険(フォルテ)》

保険期間：終身・契約年齢：0歳～80歳
パリュープランS 2倍

初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金40万円
診断給付金	上皮内新生物の場合	一時金4万円
がんが診断確定されたあと生存しているとき	がん診断後、2年目から5年目まで	年金20万円×4年間 *生存している場合
入院したとき	入院給付金	1日につき 1,000円
手術したとき	手術給付金	1回につき 20万円
5日以上継続入院後通院したとき	通院給付金	1日につき 1,000円
特定のがん治療で通院したとき	特定治療通院給付金(上皮内新生物は対象外)	1日につき 1,000円
先進医療をうけたとき	がん先進医療給付金	技術料1回につき(1年間に5回まで、通算支払限度額700万円まで) 下記日～水以外の先進医療 実費/上限50万円 特定先進医療 (日)固形がんに対する重粒子線治療 実費/上限320万円 (火)脊髄腫瘍に対する腫瘍脊髄骨全摘術 (*2) 実費/上限210万円
先進医療をうけたとき	がん先進医療一時金	1回につき 15万円(1年間に1回まで)
がんが死亡したとき	死亡保険金	10万円

(※1) 固形がんに係るものに限る。(※2) 原発性脊髄腫瘍または転移性脊髄腫瘍に係るものに限る。(※3) HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のみに係るものに限る。先進医療の給付金一時金のご契約には、限度があります。その他、アフラックの基準により限度額を定めています。

プレミアムサポート※ 訪問面談サポートと専門医紹介(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)

※トータルケアプランS、パリュープランS2倍以上のプランにご契約の場合にご利用いただけます。

◆月払保険料(団体取扱)保険料払込期間：終身

がん保険フォルテ：パリュープランS 2倍 入院日額1万円

35歳	45歳	55歳	65歳
3,038円	4,222円	5,810円	7,952円

(2008年4月1日現在)

*ご健康状態などによっては、お申し込みをお受けできない場合があります。◎詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

■事務上の問い合わせ先
盛岡国労会館 ☎019-652-4841 (FAX)019-651-7720
JR ☎033-2276 JR (FAX) 033-2277
〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通4-4

■募集代理店
アベニール株式会社 ☎03-3437-6810 (FAX)03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

■引受保険会社
Aflac 系列法人第五支社
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ各種手続き
コールセンター 0120-5555-95